

事後評価調書

I 事業概要														
事業名	農業農村整備事業（経営体育成基盤整備事業）													
地区名	みなみちたとうぶにき 南知多東部二期地区													
事業箇所	知多郡南知多町													
事業のあらまし	本地区は南知多町の東部に位置し、キャベツ等を中心とする畑作地帯であり、地区内のほ場は、国営農地開発事業により、50a 区画に整備され、生産性の高い農業が展開されている。しかしながら、地区内の農道は未だ砂利道のため、農作物搬出時の荷傷みによる品質低下が問題となっていた。このため、地区内の道路を舗装することにより、農作物搬出時の荷傷みの防止と輸送の効率化を図ることを目的とし、平成22年から経営体育成基盤整備事業を実施し、平成25年に完了した。													
事業目標	<p>【達成（主要）目標】</p> <p>農道を舗装することにより、商品価値の高い良質な農作物を安定的に供給し、農業経営の安定化を図るものとする。</p> <p>【副次目標】</p> <p>—</p>													
事業費	事業費		内訳											
	3.4 億円		■工事費 3.3 億円、口用補費 — 億円、■その他 0.1 億円											
事業期間	採択年度	平成 22 年度	着工年度	平成 22 年度	完成年度	平成 25 年度								
事業内容	農道工 19,675.7m													
II 評価														
① 事業目標の達成状況	1) 主要目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>事業実施後、地区内では安定的な農業生産が行われている。砂利道の農道が舗装され、運搬時の荷傷みの防止、農産物の輸送効率が向上することで、商品価値の高い良質な農産物が安定的に供給されている。地元農家や農道管理者からは農道が舗装され、野菜の荷傷みが減り、運搬時間も短くなったと事業効果を実感する声が挙がっている。本地区の主要作物であるキャベツは作付面積、産出額ともに愛知県が全国一で知多郡南知多町はその中でも県内有数の産地になっており、特に冬から春にかけて県内近郊の消費地に多く出荷されている。</p> <p>主要作物の作付面積</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>実施前 (H21)</th> <th>計画</th> <th>現在 (H29)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>キャベツ</td> <td>19ha</td> <td>19ha</td> <td>19ha</td> </tr> </tbody> </table> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>本事業により、農作物の輸送効率が向上し、良質な農作物が安定的に供給することができ事業目標は達成できたと評価できる。</p>					区 分	実施前 (H21)	計画	現在 (H29)	キャベツ	19ha	19ha	19ha
	区 分	実施前 (H21)	計画	現在 (H29)										
キャベツ	19ha	19ha	19ha											
2) 副次目標の達成状況	<p>【達成状況】</p> <p>—</p> <p>【達成状況に対する評価】</p> <p>—</p>													

Ⅲ 対応方針	
今後の事後評価の必要性	主要目標が概ね計画通り達成されているため、今後の事後評価は不要である。
改善措置の必要性	主要目標が計画通り達成されているため、改善措置は不要である。
同種事業に反映すべき事項	標準的な事業計画、工法で施工しているため、同種事業に反映すべき事項はない。